

水祭りイベント「遊・食・踊」 園から2人目の医大生誕生



風船割りゲーム 一番盛り上がりました



お肉も野菜もお腹いっぱい食べました



普段食べられない海の食材も準備

皆様、こんにちは。日本は今年54年ぶりに11月の初雪が観測され、早目の冬が訪れたことと思います。カンボジアは今雨期が終わり乾季に入っていく時期で、朝方は寒く、日中との温度差により体調を崩す子どもが多い時期でもあります。

今回のDream通信では、11月に行った水祭りのイベントの様子、今年卒園し国立健康科学大学を受験した子どもの結果報告、子どもミーティングについてお伝え致します。

水祭りイベント

カンボジアには水祭りという雨期明けを祝い、豊かな大河の恵みに感謝するというお祭りが3日間行われます。今年はプノンペンでボートレース等のイベントが行われました。

園でも毎年イベントを企画し、夜はお供え物を準備し皆でお祈りをします。子どもたちには自分で考え行動出来る人になってほしいという思いで、今回の水祭りイベントはイベント委員会中心に企画、準備、進行をしてもらいました。

イベント委員会からの提案で今年の水祭りイベントはゲーム、バーベキュー、ダンスパーティーをすることにしました。

ゲームは全員が楽しめる4つの種類を準備し、職員も参加、笑いの絶えない時間になりました。

バーベキューは普段子どもたちが勉強や農作業を頑張っているご褒美として毎年行っているイベントでもあり、準備から片付けまで全員で協力し、また園で育てた野菜や鶏肉を食材にし、収穫の喜びを分かち合う機会でもあります。

昼過ぎから準備開始、皆で協力し用地にバーベキューセットを用意、火を起こしていきます。いつもと違う雰囲気食べるお肉や野菜はとても美味しく、残さずきれいに食べました。

夜は花火大会をし、その後ダンスパーティーで今年の水祭りイベントを締めくくりました。

今年の水祭りイベントが子どもたちにとって良い思い出となり、これを活力にし勉強もお手伝いも頑張りたいと思います。

チョム・サルーン 国立健康科学大学合格

サルーンは今年8月に卒園し大学入試の為にプノンペンにある事務所へ引っ越し、皆で共同生活をしながら塾に通っていました。健康科学大学の試験日は他の大学よりも遅く、他の子どもたちの進路が次々に決まっていく中、最後は事務所に一人で生活しながら勉強をしていました。

11月5日、6日の2日間にわたって試験が行われ、18日にサルーンから合格の報告がありました。電話越しの声から喜びや安堵感が伝わり、すぐに園の皆に報告し皆で喜びを分かち合いました。

サルーンは家族を早く助けてあげたいという思いが強く、最後の最後まで進路に悩み、何度も医者になる夢を諦めようと思いました。

しかし里親様をはじめ、たくさんの方にアドバイスをもらい、支えられ、医者を目指す事に決めました。

自分のやりたいこと、夢を諦めず、毎日一生懸命勉強を続けたサルーンを誇りに思います。

サルーンの合格で園の子どもたちもたくさん勇気をもらいました。

サルーン自身の頑張りはもちろんですが、里親様をはじめ本当にたくさんの方の応援なしでは成し遂げられなかったことだと思います。

サルーンには今まで応援してくれた方への感謝の気持ちを忘れず、大学で一生懸命勉強し、医者になるという夢を叶えてほしいと思います。

「今の生活について」子どもミーティング

園の生活は、食事、洋服、勉強が出来る環境が揃っています。しかし、園での生活が長くなるにつれて、今の環境を当たり前と感じてしまっているのではないかと思います。

例えば、物を大切にしない、要望が通らないと不機嫌になる、嫌いな料理は食べない、園のルールを守らない等です。

そこで子どもたちに今の生活や子どもたちの問題について話をすることにしました。「園に来る前の生活を思い出し、今の生活や態度を見つめ直してほしい、皆が安心して生活出来ているのは、たくさんの人たちが皆に明るい未来を築いてほしいという思いがあるから。今の生活は決して当たり前ではない、感謝する気持ちを絶対に忘れてはいけない、そして嘘をつかない素直な子になること。今自分が何をしなくてはいけないのかを自分自身でしっかり考え行動してほしい。」と話をしました。

卒園し自分の足でしっかりと歩いていけるように、日々の向き合い方を考え、見直ししながら指導をしていきたいと思っています。



みんなでお線香をあげました



里親様と一緒に来園



皆に合格の報告をします



SAJ15周年 たくさんのお声をいただきました